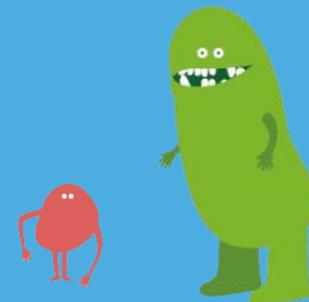


ナブテスコ株式会社 第23回定時株主総会

2026年3月26日



第23期(2025年度)の ご報告

油圧機器事業の会社分割ならびに
同事業を継承する子会社の株式譲渡に伴い
当期および前期の実績については
以下の区分でご報告します

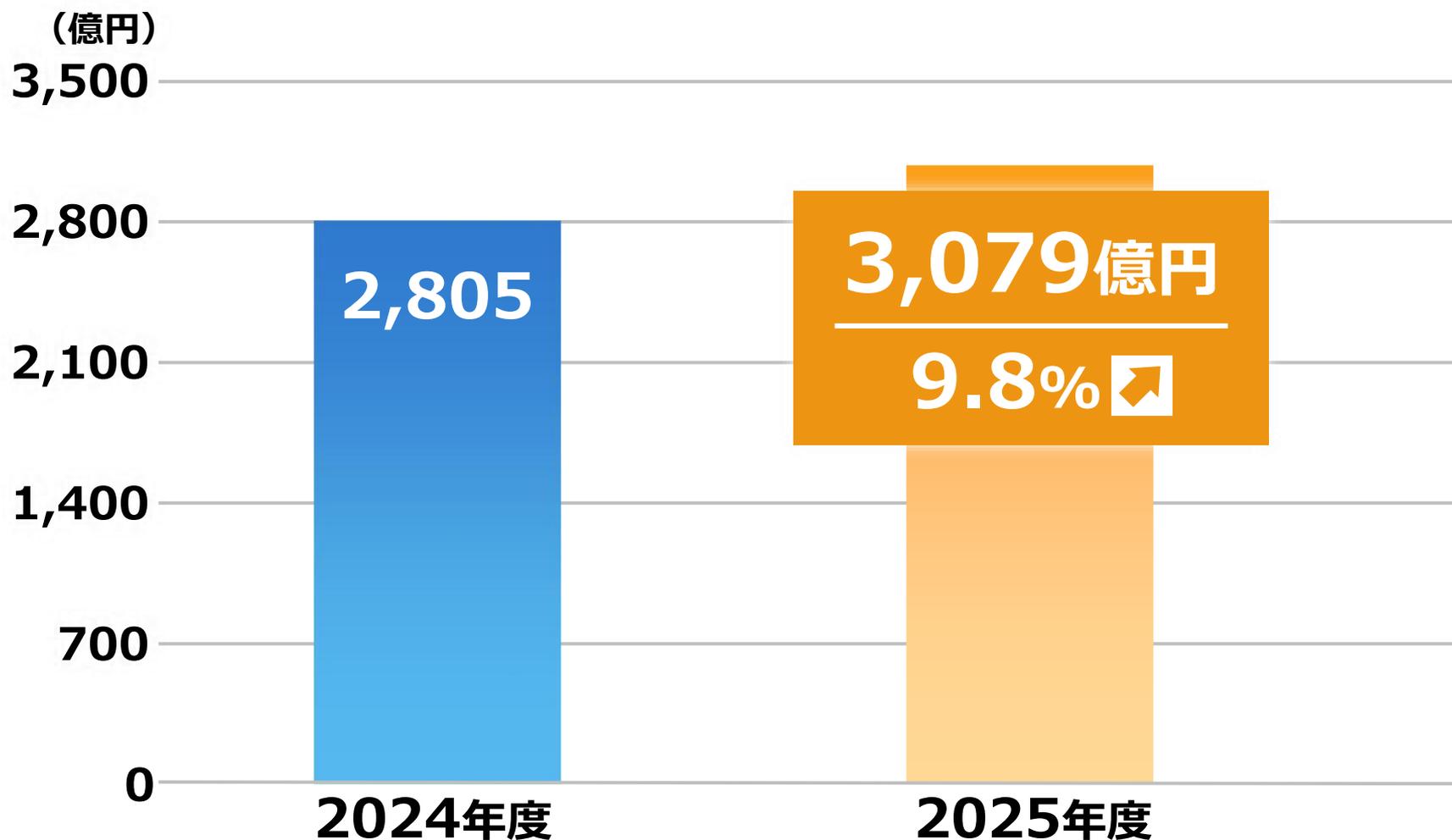
売上高	営業利益	税引前 当期利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益
油圧機器事業を 含まない金額			油圧機器事業を 含む金額

当社グループの当事業年度の業績

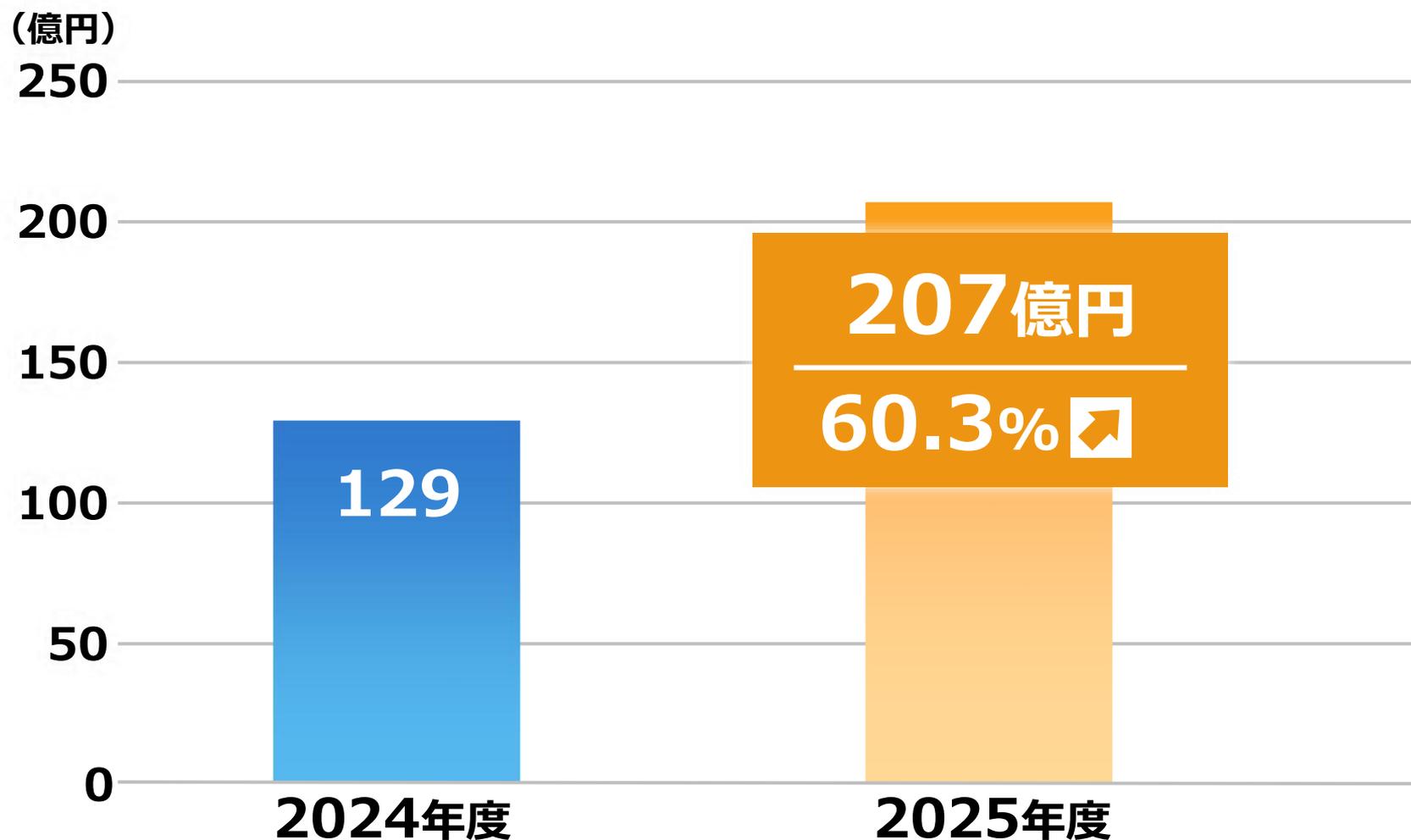
コンポーネントソリューション事業
トランスポートソリューション事業
アクセシビリティソリューション事業

需要が増加

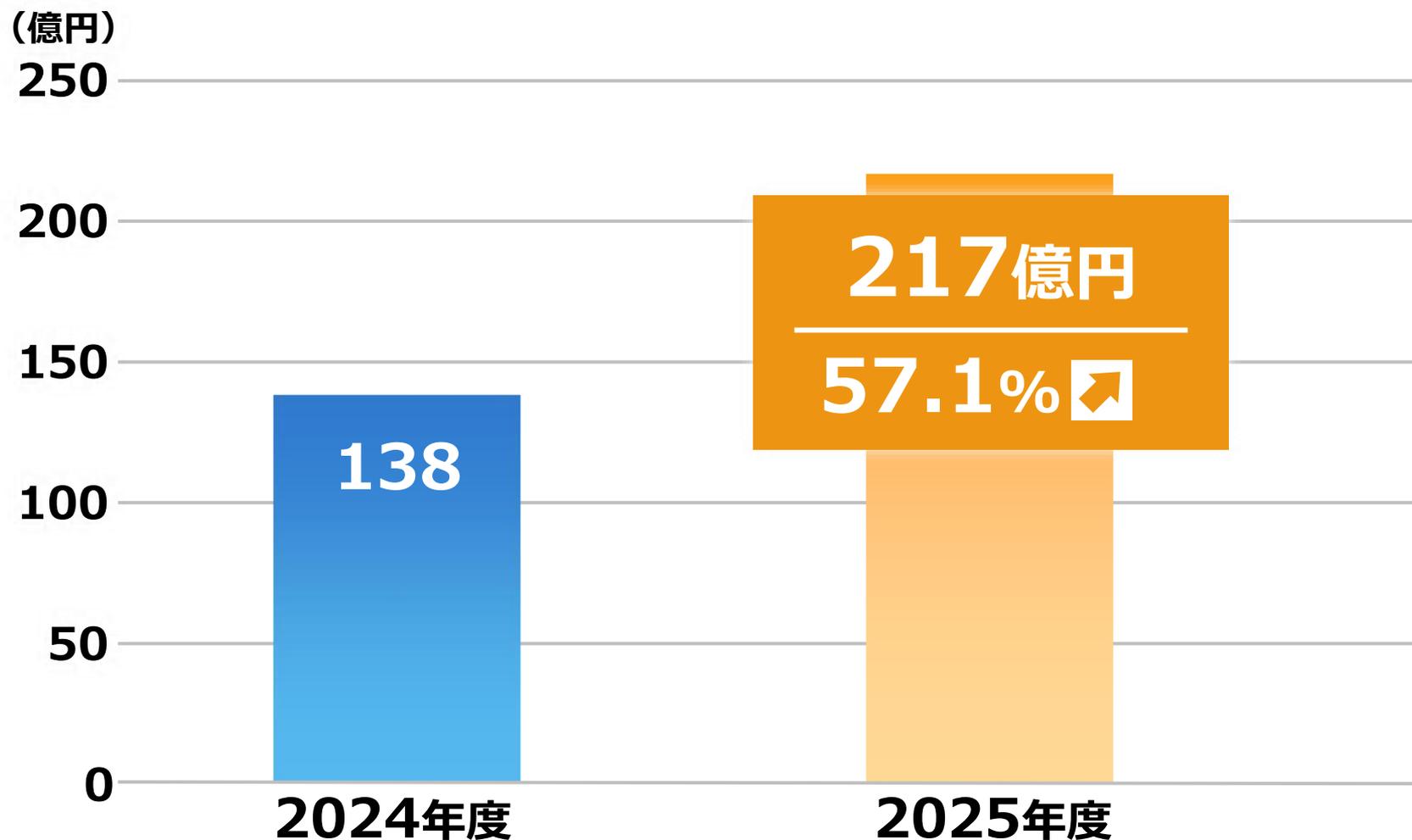
売上高



営業利益



税引前当期利益



親会社の所有者に帰属する当期利益

(億円)

160

120

80

40

0

2024年度

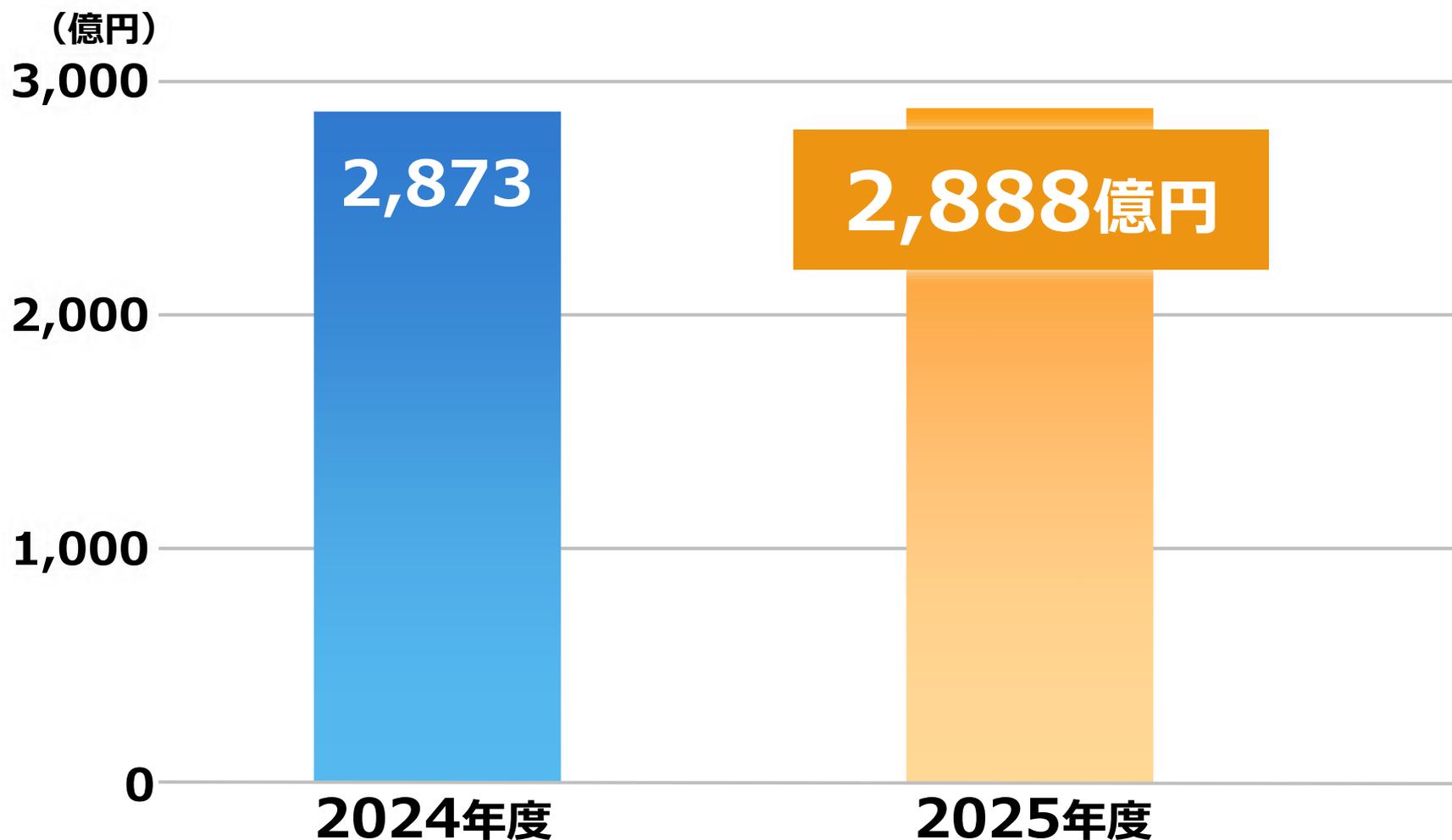
2025年度

101

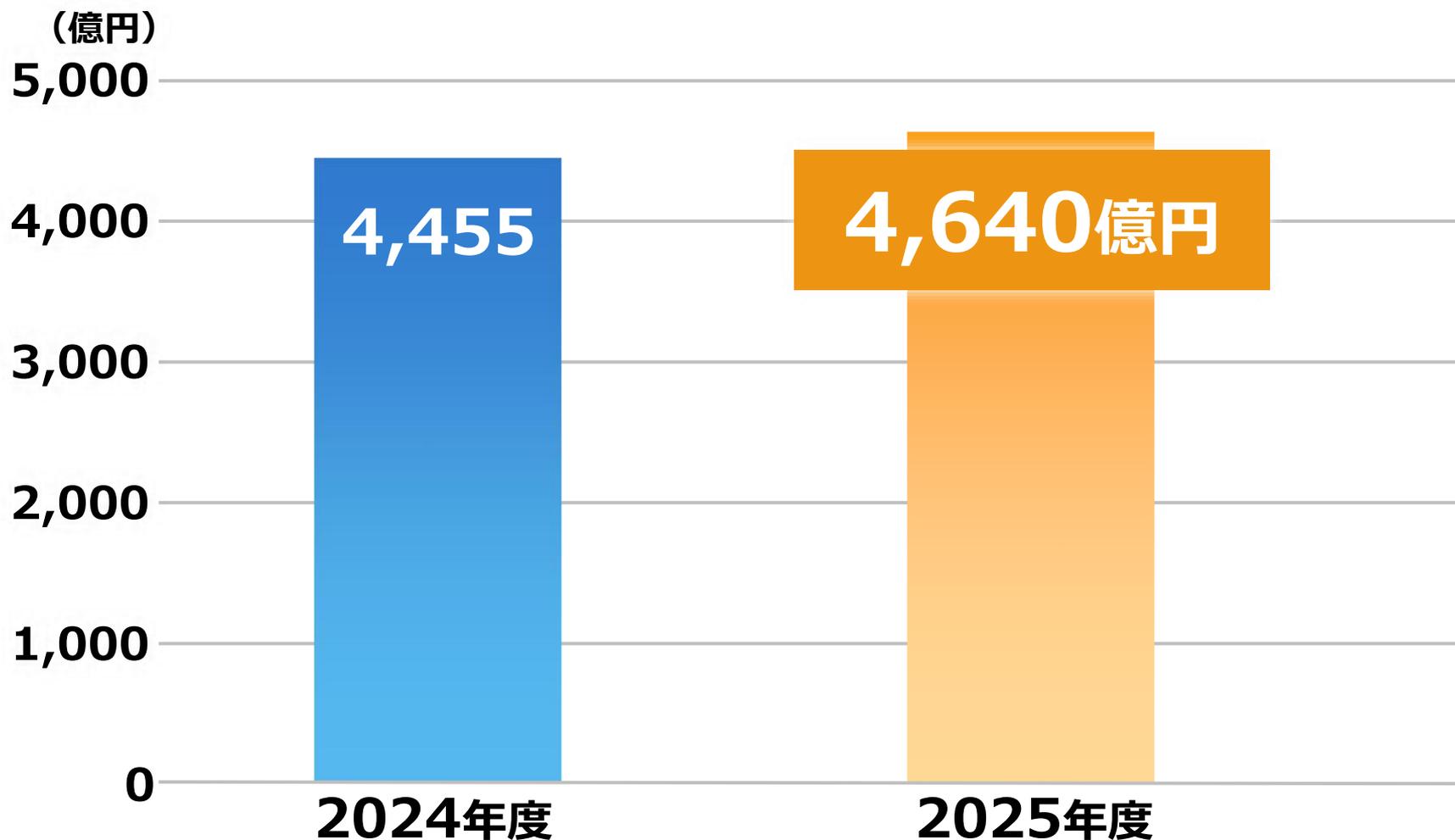
157億円

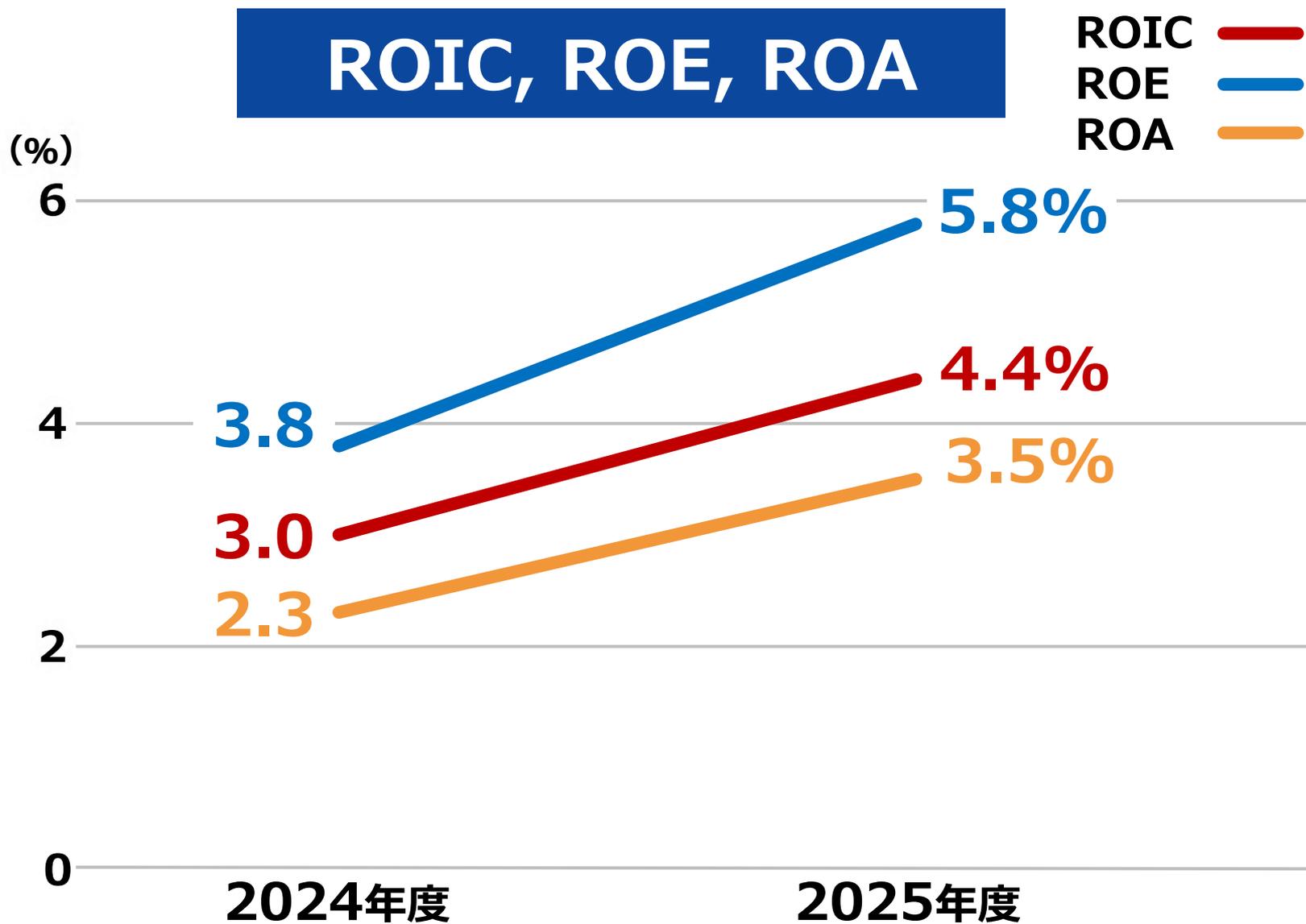
55.1% 

資本合計



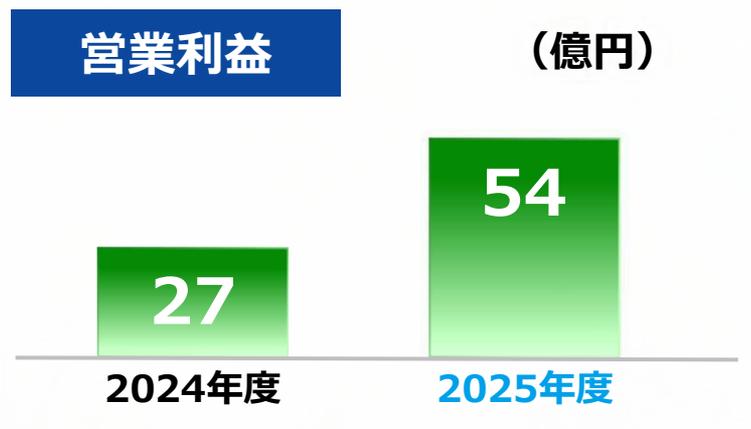
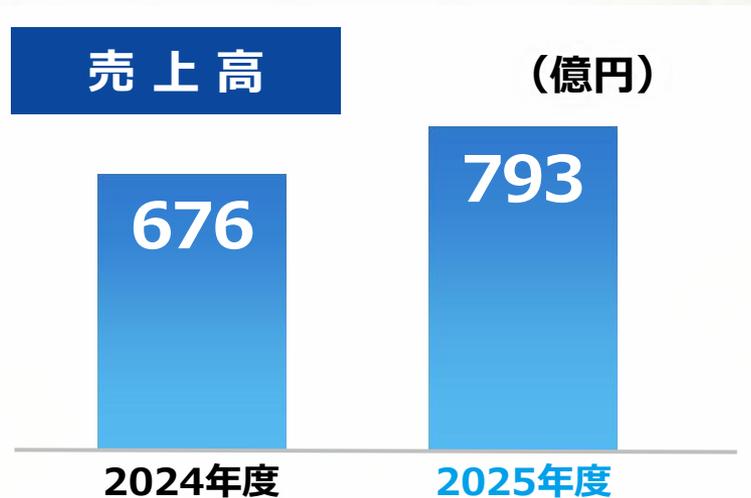
資産合計





セグメント別 業績の概要

コンポーネントソリューション事業



コンポーネントソリューション事業

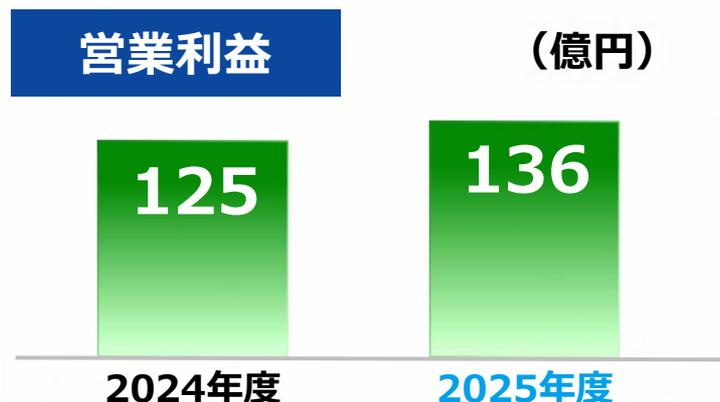
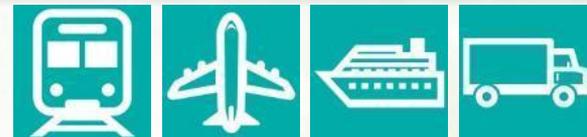


精密減速機

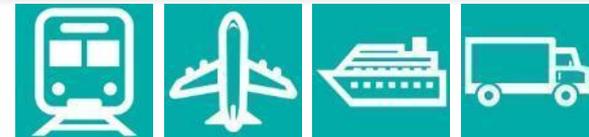
産業用ロボット在庫が適正水準
需要が堅調に推移

売上高は前期比で増加

トランスポートソリューション事業



トランスポートソリューション事業



鉄道車両用機器

国内外での新車向け需要および

MRO*需要が好調に推移

売上高は前期比で増加

*M…Maintenance R…Repair O…Overhaul

トランスポートソリューション事業



航空機器

防衛費の増額による需要拡大

民間航空機向けでも増収

売上高は前期比で増加

トランスポートソリューション事業

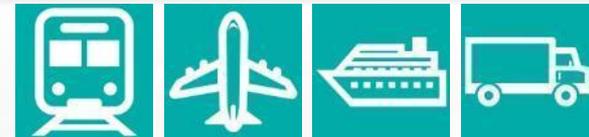


船用機器

新造船向け需要および
MRO需要が好調に推移

売上高は前期比で増加

トランスポートソリューション事業



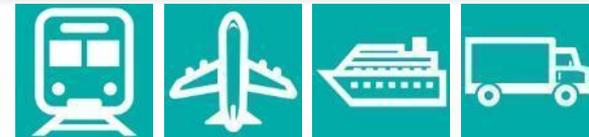
商用車用機器

東南アジア市場で需要の低迷が継続

国内市場の需要は底堅く推移

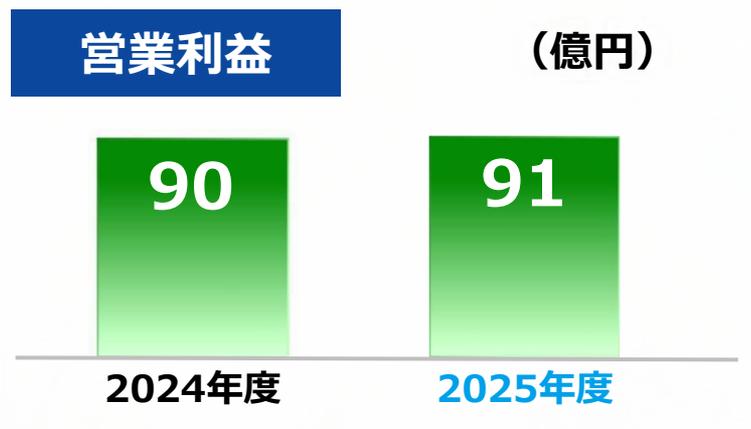
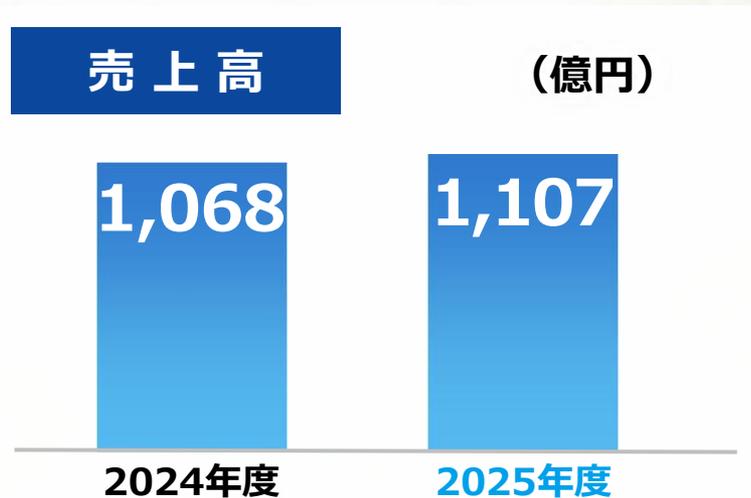
売上高は前期並み

トランスポートソリューション事業



**鉄道車両用機器に係る
関係会社整理損失13億円および
Deep Sea社に係る
のれんの減損損失10億円を計上**

アクセシビリティソリューション事業



アクセシビリティソリューション事業



自動ドア

国内での建物用ドアおよび
プラットホームドア需要が堅調に推移
為替効果

売上高は前期比で増加

その他



売上高

174億円

0.8% ↗

営業利益

22億円

110.3% ↗

売上高

(億円)

173

174

2024年度

2025年度

営業利益

(億円)

10

22

2024年度

2025年度

その他



包装機

国内での設備更新需要が堅調
海外での設備投資の見合わせが継続
売上高は前期並み

対処すべき課題

The Nabtesco Way

ナブテスコ ウェイ

- 企業理念
- 私たちが大切にすること

長期ビジョン

- 2030年のありたい姿：未来の“欲しい”に挑戦し続けるイノベーションリーダー

経営マテリアリティ

- 長期目標実現に向けた長期的な課題

財務パフォーマンス向上
への取り組み

経営基盤強化への
取り組み

長期目標実現への
固有の取り組み

中期経営計画

- 長期ビジョン実現に向けた実行策

生み出される価値

- 経済価値、環境価値、社会価値

財務パフォーマンス向上への取り組み



資産効率経営（ROIC）の推進

経営基盤強化への取り組み



気候変動への対応



コーポレート・ガバナンスの強化



人的資本経営の推進



安全・安心・快適の追求



レジリエントな企業基盤の構築

長期ビジョン実現への固有の取り組み



スマートモーションコントロールを通じた社会課題の解決



デジタル技術によるものづくり革新



グローバルマネジメントの強化

CMPの成長加速

**油圧機器事業分割後の
CMP事業の成長加速へ**

収益性の改善

Project 10 2027年に達成を目指す

**事業ポートフォリオの
強化**

**MROを基盤とした安定収益の確保と
成長市場での売上拡大を実現する
ポートフォリオの構築**

■ 20kg以下の小型ロボット向けで手首軸含めた6軸セット提案、コボット、ヒューマノイドへの参入で売上拡大を図る

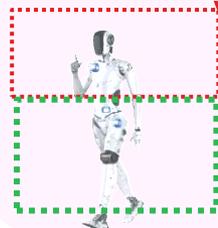
可搬重量

6 < 20kg

20 < 80kg

80 < 230 kg

230kg <



RVmini®

波動歯車方式
✓軽量コンパクト



3C*3 / 半導体

コボット(協働ロボット)

スカラロボット

工作機械、FPD*1、半導体製造装置、ポジショナー、AGV*2向け、アンテナ

Monocrank®

センタークランク式プラノ
セントリック方式
✓耐衝撃性が強く歯とびしない



ヒューマノイド

RV™

2段減速機構型プラノセントリック方式
✓高剛性、高精度、長寿命



溶接(アーク、レーザー)

溶接(スポット)・塗装

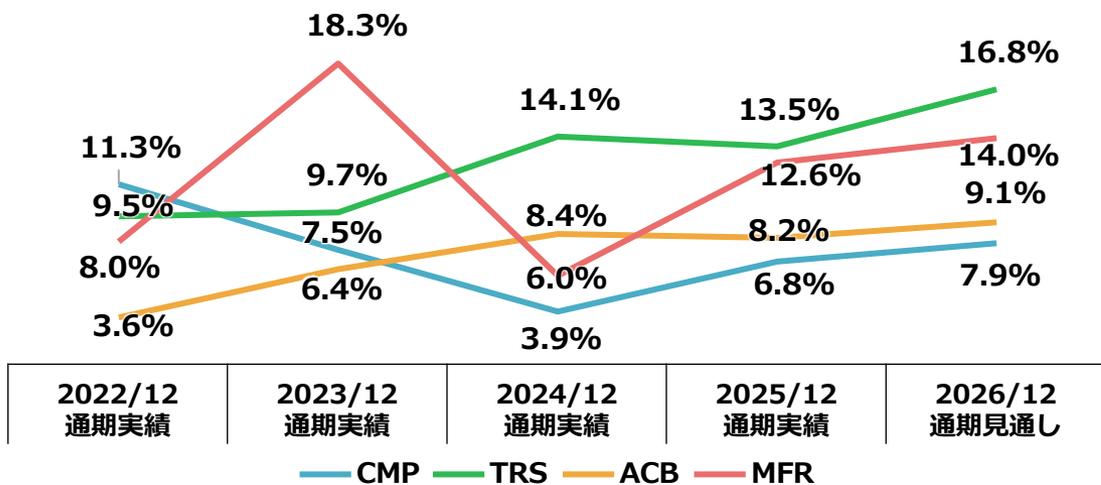
物流・ハンドリング



*1 Flat Panel Display, *2 Auto Guided Vehicle, *3 3C : Computer, Communication and Consumer electronics.

■ Project 10始動以降利益率は着実に改善 CMP、ACBの利益率改善施策の実行により、2027年に10%以上の 営業利益率達成を目指す

セグメント営業利益推移



更なる利益率改善へ向けた施策

CMPセグメント

【要因】

- ・ロボット以外のFA分野での売上遅れ

【対策】

- ・半導体製造装置や物流分野等
成長分野向けの拡販

ACBセグメント

【要因】

- ・海外ドア事業の収益性改善に遅れ

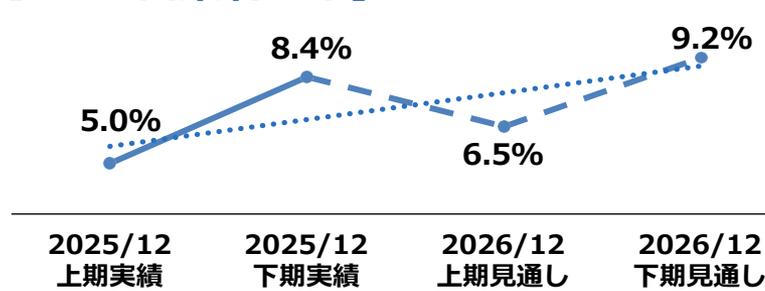
【対策】

- ・海外PDビジネスの見直し
- ・MROの強化

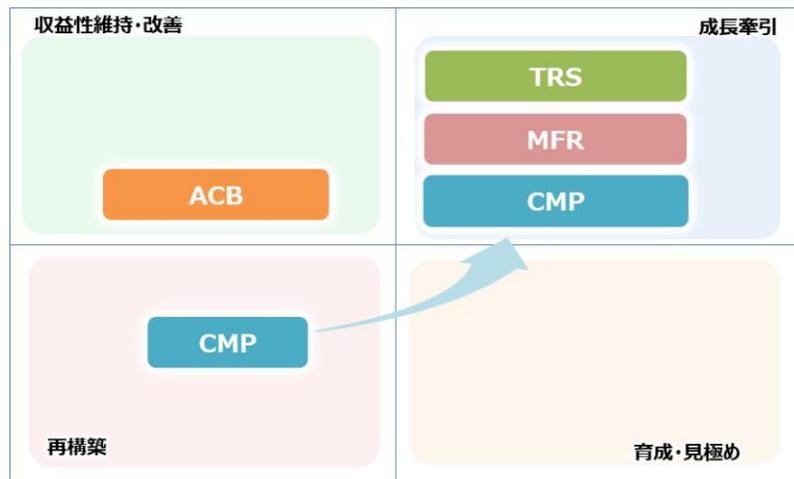
【全社 営業利益率】



【CMP 営業利益率】



■ MROを基盤とした安定収益の確保と成長市場での売上・利益拡大を実現するポートフォリオの構築



2025年実績：ポートフォリオのスリム化（選択）

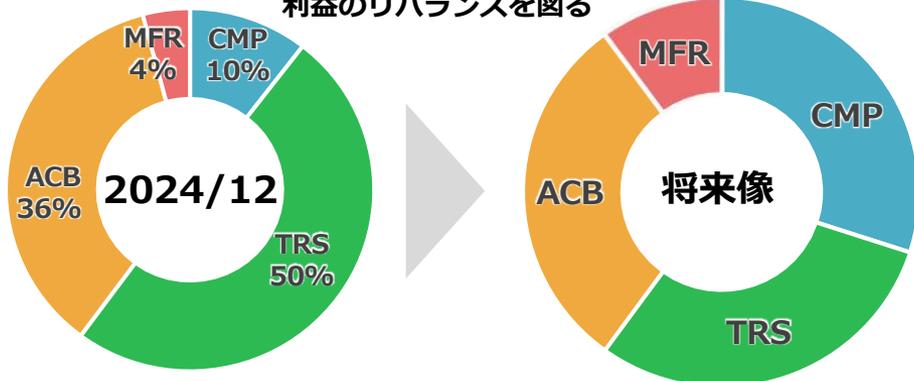
- ・ 油圧機器事業の会社分割とベストオーナーへの株式譲渡
- ・ 鉄道車両用機器の欧州ドア子会社売却
- ・ 設置工事込みの海外プラットフォームドア事業から撤退

2026年のアクション：既存ポートフォリオの強化（集中）

- ・ 新製品投入によるCMPの成長加速
- ・ 航空機器での開発投資の前倒しや製品ラインアップ拡張
- ・ 船用機器の生産能力増強・開発投資の積み増しによる成長機会確保

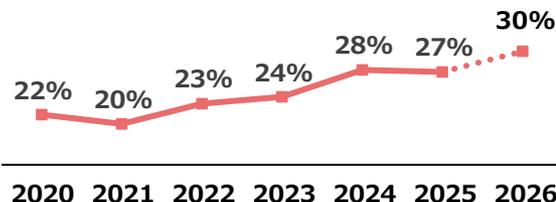
■ 目指すもの

【利益構造の転換】
利益のリバランスを図る



【MRO売上比率 対全社売上高】

MRO強化および事業ポートフォリオ見直しによる安定収益拡大



※2025年までは油圧機器を含んだ売上高を使用しています。
2026年は2月12日に開示した計画に基づいています。

うごかす、とめる。

Nabtesco

